

I 第13週の発生動向 (2010/3/29~2010/4/4)

- インフルエンザについては、県全体で大幅に減少し、終息に向かっていることからインフルエンザ情報については第12週をもって終了いたします。型別等の情報については、随時掲載します。
- 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第3週から**警報**が継続しています。
- 迅速診断キットによるインフルエンザ型別情報

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	1	1	0	0	0	1
A型 / B型 / 不明	0/0/0	0/1/0	1/0/0	0/0/0	0/0/0	0/0/0	1/0/0

II 第13週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ	1	0.1	1	0.1	1	0.1							3	0.0	-5			1	0.1
小児科 (74) RSウイルス感染症	4	0.4	3	0.3	3	0.3							10	0.2	6			4	0.5
(75) 咽頭結膜熱			3	0.3							6	1.5	9	0.2	-4				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	2.0	7	0.8	2	0.2	2	0.4	11	1.8	3	0.8	43	1.0	-14			18	2.3
(77) 感染性胃腸炎	63	7.0	36	4.0	30	3.3	11	2.2	32	5.3	33	8.3	205	4.9	29	10	10.0	53	6.6
(78) 水痘	12	1.3	23	2.6	6	0.7	3	0.6	17	2.8	8	2.0	69	1.6	39			12	1.5
(79) 手足口病															-1				
(80) 伝染性紅斑	7	0.8			1	0.1			13	2.2	3	0.8	24	0.6	3			7	0.9
(81) 突発性発しん	4	0.4	3	0.3	1	0.1	1	0.2	4	0.7	2	0.5	15	0.4	2			4	0.5
(82) 百日咳															-1				
(83) ヘルパンギーナ			2	0.2					1	0.2			3	0.1	1				
(84) 流行性耳下腺炎	11	1.2	7	0.8			3	0.6	6	1.0	1	0.3	28	0.7	4			11	1.4
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			3	1.5	2	2.0					6	0.5	6			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	1	1.0					2	2.0	5	0.8	-2				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、青森市1人

(22年計：54人)

IV 病原体検出情報

※()内の日付は検体採取日です。

・弘前地域におけるウイルス性胃腸炎患者1名(3/29)の糞便から、ノロウイルスGII型が検出されました。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

レプトスピラ病

(四類全数把握)

表 日本国内における届出数

年	全国届出数
2003	1
2004	18
2005	17
2006	24
2007	35
2008	42
2009	15

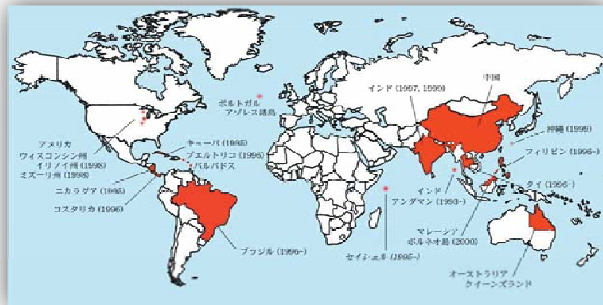


図1 世界でのレプトスピラ症の流行



図2 病原性レプトスピラ (電子顕微鏡写真)

図1, 図2：国立感染症研究所感染症の話 より引用

本疾患はスピロヘータ目レプトスピラ科に属するグラム陰性、らせん状の細菌による人畜共通感染症です(図2)。ヒトは、レプトスピラを保有する動物(げっ歯類、豚、犬など)の尿で汚染された水や土壌との接触、あるいは尿との直接的な接触によって感染します。症状は、感冒様症状(発熱、悪寒など)から、黄疸、腎不全を伴う重症例などさまざまです。2010年4月3日、アルゼンチン・エントレリオス州においてレプトスピラ症の症例数が48人であるという地元紙による報道発表がありました。国内では、1人~42人/年の届出数ですが(表)、国外の流行地域では年間数千人規模の流行があるとされています(図1)。